

北の丸公園

北の丸公園は遡るとかつての江戸城の一部であり、のちに近衛師団の駐屯地となりました。現在は野生の動物たちが住む場所と、1964年のオリンピックで武術競技の会場として使用され、1966年のビートルズのコンサート会場としても知られている日本武道館があります。また公園内には3つの博物館があります。東京国立近代美術館、科学と技術関連の展示がされた巨大な体験型の博物館である科学技術館、東京国立近代美術館の一部である工芸館です。工芸館はかつての近衛師団の本部であり、現在は重要文化財に指定されています。近衛師団は第二次世界大戦の終わりまでここに駐屯しており、敷地内の至る所で軍事史の名残を目にすることができます。

工芸館の横には、かつて近衛師団長を務めた北白川宮能久親王(1847年-1895年)が馬に乗った印象的な銅像があります。千鳥ヶ淵には、1937年に日中戦争のために建てられた高射機関砲のコンクリート台座が残っています。

江戸時代(1603年-1867年)、北の丸公園は徳川家一族の居住地でした。公園内には、清水門と田安門と呼ばれる2つの門があり、重要文化財に指定されています。1607年まで遡る記録には、この場所に門があったという記載があり、1636年に現在の形に再建されたことから、田安門は現存する江戸城の最古の城門となっています。

北の丸公園の森と池は、この地の野生生物にとって格好の生息地となっています。春の桜の季節や、公園の紅葉、樺、コナラが鮮やかな赤色や明るい黄色、オレンジ色に変わる秋、北の丸公園は格別に美しくなります。

北の丸公園は昭和天皇(1901年-1989年)の還暦を記念して1969年に開苑しました。